

自己評価公表シート

令和6年度 第1回 津山社会福祉事業会 津山乳児保育園

1. 本園の保育目標

<p>子どもが健康で心豊かに成長するため、保護者や地域社会とともに子育てを進めます。</p> <p>1. 心身ともに健康で丈夫な子どもを育てます。</p> <p>2. 豊かな生活経験のなかから、基本的な生活習慣を身に着けることができる子どもを育てます。</p> <p>3. 安心した気持ちで、さまざまな活動を通して共通の目的を見出し、協力して遊びを楽しめる子どもを育てます。</p> <p>4. 豊かな感性を持ち、自分の思いが表現できる子どもを育てます。</p>

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
<p>保育について 保育の理念・保育観の理解、保育計画の作成、計画に基づいた保育実践に関して職員間の共通理解を図る。</p>	<p>保育所保育指針をもとに、発達過程保育課程・全体的な計画を編成し月週指導計画、個人指導計画を作成・保育の実施が出来るように努めている。職員会議等の研修で、他者の意見を受け止め、自らの保育を振り返り次の保育に活かせるよう、保育士等の専門性の向上に努めている。</p>
<p>職務について 自分の職務や役割分担を理解し、職員間で意見交換し、同じ方向に向かって職務を行う。</p>	<p>自分の職務を最後まで責任をもって行いながら、園全体にも目を向けて、職員同士の連絡・報告相談等は都度話し合う機会をつくり、日々の連絡会で細やかな連携が取れるようにしている。</p>
<p>資質向上について 保育士・栄養士・看護師の専門性の向上のため、自己研鑽に務める。</p>	<p>年間教育研修計画をもとに、園内外等の研修などを通して職員の資質向上を図り、専門的な知識を職員が共通理解するように努めている。計画、実践、反省を行い自己研鑽に努めている。園外の研修に今後も積極的に参加し、研修参加者は、研修内容を他の職員に分りやすく伝え、実りのある物にする。</p>
<p>その他 信頼される保育園として保育をすすめる、保護者、地域、専門機関との連携を図る。</p>	<p>子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、丁寧な保育が出来るように心掛け、子どもの主体性が育つ保育を目指していきます。 子どもの成長に応じた保育計画を立て、保育者間の連携をしっかりと取りながら、保育実践を行うように努めている。又、保護者の気持ちに寄り添い、保育園での情報を共有し、共に喜ぶ。ホームページなど活用し情報発信に努めている。</p>

3. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み状況
<p>乳児の発達過程を十分理解したうえで、子どもたちが安全に安心して過ごせる保育の計画を実施する。</p>	<p>「保育所保育指針」をもとに乳児の発達過程を十分理解し、保育士間で共通理解をしたうえで保育計画や環境構成を行い、子どもの人権を尊重し、主体性を大切に保育に取り組むように努めている。</p>
<p>全職員の共通理解と連携を図っていく。</p>	<p>職員間で保育の内容や子ども一人ひとりの状況を具体的に情報共有する。日々の連絡会を大切にし、職員同士の連携をより一層図る。一人ひとりが自分の業務に責任を持ち、お互いに協力しながら職務に携わっていく。</p>
<p>職員の資質向上に取り組み専門性を磨く。</p>	<p>人権や主体性を尊重した保育、不適切保育の研修や、虐待防止に向けた研修を行い共通理解を図る。グループワークなど、お互いに意見が言い合える環境作りを行う。 全職員の意識向上に向け継続して取り組み自己研鑽し、資質向上を図るよう努める。</p>
<p>保護者、地域、専門関係との連携を図る。</p>	<p>園内での子どもたちの様子をスライドショーやホームページ、各種お便り等で知らせ、保護者の方々に伝えるよう努めている。 園内外研修や会議への参加を積極的に行い、保育に活かせるように努めていく。専門機関との連携をとり、子どもの健康で心豊かな育ちにつなげていく。</p>